

令和5年3月22日

あきる野市議会議長 殿

会 派 名 公明党

代表者氏名 増崎 俊宏

会派の（ 調査研究 ・ 研修 ） 報告書

このことについて、下記のとおり実施したので報告します。

記

1 調査研究または 研修実施日	令和5年3月中に2日間にかけて受講
2 調査研究または 研修の場所	資料及びUSBデータで受講
	会派控室及び自宅
3 調査研究事項 または研修名	質問づくりのためのデータの使い方 ～（初級編）データ武装セミナー～
	準備編及び実践編
4 参加者氏名 (1名)	増崎 俊宏
5 調査研究または 研修の概要及び 感想等	別紙のとおり

【概要】

講師は小林伸行氏。コンサルティング、シンクタンクのリサーチ支援、NPO中間支援組織等に携わった後、国会議員政策秘書を経て、現在は横須賀市議。データ分析が評価され、大学院で学び直すなどし、マニフェスト大賞では6回連続8回受賞という異色の経歴。講義としては以下の流れ。

●データ武装で強力な一般質問（準備編）

- ・データ・サイエンス最強説
- ・「オープン・データ」「DX」「EBPM」「データ・ドリブン」知らなくても大丈夫。基礎の基礎からおさらい
- ・とりあえず「オープン・データ化を！」でみんな幸せ
- ・ネットの仕組みも一応おさらい
- ・役人に「予算がないから…」と言いつせさせない。役所に無料でGISや分析ツールを導入させる方法
- ・調査権と資料照会とインターンを使いこなす

●データ武装で強力な一般質問（実践編）

- ・データ分析で大事にしたい視点
- ・質問に使える主なデータ分析手法
- ・リスト化
- ・タテ比較／ヨコ比較
- ・ベンチマーキング
- ・ランキング
- ・地図落とし
- ・ABテスト
- ・データに基づく政策提案型の質問事例

- ・ B I ツールの活用事例
- ・ 地図落としの活用事例
- ・ 使ってみよう R E S A S

【感想等】

議員の目線での話はとても共感ができたし、理解しやすかった。議員は研究者ではなく、経営者である。細かいことより、大づかみに理解する。データの使い方を知って、役所に提案するのが議員の仕事…に納得できた。

準備編では、データ活用で効果が得られた事例として、実話を基にした映画やデータ収集による原因究明で多くの人命を救った偉人の例は理解しやすかった。また、時として、論理よりもデータ（エビデンス）を重視した方がいいのでは？との投げかけは、今後の事業展開や公共施設再編等には有効な考え方だと感じた。

実践編では、様々なデータ分析手法を紹介しつつ、講師自身が議会質問で使った事例を学ぶことができ、大変参考になった。可視化することで、ここまで分かりやすく、説得力を持つものになるのかと再認識することができた。

このセミナーで学んだ分析手法を使い、本市の課題をマクロ、ミクロ、トレンドの3つの視点によって分析を試してみたいと思った。新たな気づきが生まれるかもしれない。

また、地域を歩いて住民の生の声を聴くことに加え、声なき声をデータで補うことも可能なのでは？との講師の問いかけは、今後の市政運営や自身の議会質問にはデータの活用は欠かせないし、住民に分かりやすく、理解しやすい手法をさらに研究していきたいと思う。